

春季企画展情報

華やぐ宮廷の貴婦人たち
～マリー・アントワネットの時代～



18世紀ロココ時代の
優美な宮廷衣装や
装飾品などを紹介します。



【会期】6月26日(日)まで



神戸ファッション美術館コレクション



香りの博物館・香りの公園
東海道本線「豊田町駅」下車、
北口より徒歩約5分

暮らしを豊かに彩る「香り」をテーマにした世界でも数少ない博物館です。さまざまな観点から、香りの歴史と文化、そして魅力に迫る、まさに全館が香りに彩られた夢の空間です。香りを感じられる「香りの小部屋」、自分だけの香りを作る「香りの体験コーナー」など、



自分だけの香りを作る「オリジナルフレグランスキット」



ハーブ園も楽しめる「香りの公園」

- 立野2019-15 ☎36-8891 ● ホームページ <http://www.iwata-kaori.jp>
- 開館時間／午前9時30分～午後5時 ● 休館日／月曜日、祝日の翌日
- 入館料／一般300(250)円、学生〈高校生以上〉200(160)円、小・中学生100(80)円
※()内は20人以上の団体割引料金



香りの博物館



東側には香りの公園が隣接



ミュージアムショップ

表紙のおはなし

4月21日、向笠新屋の茶畑で「いわた新茶まつり」が行われ、市内の幼稚園児と小学生の約520人の子どもたちが、新茶の手摘みを体験しました。

これは、磐田青年茶業研究会の皆さんが、おいしい「いわた茶」を、より多くの方に味わってもらおうと企画したものです。参加した子どもたちは「お茶摘みは面白いね」、「お茶ってとってもいいにおい」と、お茶摘み体験を楽しみました。



編集後記

合併して広がった磐田。北から南まで取材に駆け回り、市民の皆さんに喜んでいただける広報紙づくりに明け暮れる中、いつの間にか桜の季節も過ぎ、続いて、個人的には甘い香りが大好きな熊野の長藤も終わってしまいました。見ごろを逃してしまっても残念。3度目の校了も何とか終わり、息子のおやつをつまみに、ちょっとひと休み…。

やさしく香る磐田の新茶と、かしわもち

